



STOP特殊詐欺

現金やキャッシュカードを「振り込まない」「渡さない」「送らない」!

道警のまとめ(2022年12月速報値)によると、同年の道内の特殊詐欺事件発生状況は、件数は308件(前年比168件増)で現集計方法で最多、被害総額は約12億4千万円(同約6億5千万円増)で過去2番目と、最悪の状態となりました。

町消費者被害防止ネットワーク(生活環境課)はこのほど、高齢者の年金支給日に合わせ、金融機関店頭で街頭啓発を実施。被害防止を呼び掛けながら、「『保険が使える』にご用心!」「うまい話には裏がある」などと書かれた啓発グッズを利用者に配布しました。

消費生活豆知識

相
談
相
い
合
わ
せ
先

生活環境課
町民生活グループ
町消費生活センター
☎82-2265



訪問・電話での勧誘は入口でブロック!

訪問販売や訪問買取、電話勧誘販売は大変トラブルの多い販売方法です。一度話を聞いてしまうと断るのは大変困難です!トラブルを避けるため日ごろから備えましょう。

お断りします

訪問や電話での契約トラブルの原因

- ・心の準備なく「突然」「不意打ち的」に勧誘される
- ・見知らぬ人と外部から遮断された環境で、1対1で勧誘を受ける

訪問の場合 家を知られているため「断ると仕返しされるのでは?」と恐怖を感じる

電話の場合 口頭での説明だけなので契約内容がわかりにくい
~品物や契約書面が届くまで相手の社名や連絡先が分からない場合も多い

冷静に判断が
できない状況に!



今、決めてくれたら半額にできますよ!

このような状況で決断を急がされ、自分で調べたり、誰かに相談をする機会が失われた結果、意に沿わない契約をしてしまうケースが多くなります。



実践している方も多いはず!こんな対策どうですか?

- ◆在宅時でも玄関は必ず施錠!訪問販売お断りステッカーを活用しましょう。
- ◆来客があってもいきなりドアを開けず「ドア越し、インターホン越し」の対応を。
- ◆電話は、番号表示機能を活用し相手の番号を確認してから出るよう心がけましょう。
「録音機能」や「迷惑電話振り分け機能」など迷惑電話対策機種の利用も効果的です
- ◆電話を取ってしまったとしても自分の名前は名乗らず、まずは「相手の名前と要件」を確認しましょう。

警察相談窓口 ☎#9110(24時間対応) / 白老町消費生活センター ☎82-2265

知っておこう アイヌ文化

イキサブ

イランカラフテ。冬の厳しい寒さは、私たちに暖かさや灯り、調理に必要な熱を与えてくれる火のありがたさを改めて実感させます。今ではマッチやライターで簡単に起こせる火ですが、もし、それがなかったら、あなたはどのようにして火を起こしますか?

アイヌ民族は火をアペフチカムイ(火の神)として尊び、一度起こした火を絶やすことなく大切にしたいため、頻繁に火起こしをしていたわけではありません。それでも、新しい家を建てた時や狩猟、漁撈の際に火起こしを行います。石と鉄を打ち合わせて起きる火花を炭の粉に落として火種を作る方法の他、弓を応用したイキサブと呼ばれる火起こしの道具を使った方法もあります。イキサブはイチイの木の枝を使った弓を使い、弓の弦にハルニレの木の棒を巻きつけて、弓を前後に動かすことで棒を回転させ、棒の先端を別のハルニレの木の台に穴を開けるように押し付けて、摩擦によって火種を得ることができます。ちなみに、ハルニレはアイヌ語でチキサニと呼ばれ、木と木をこすり合わせて穴を開ける木を意味し、その動作から、火起こしに使われた木であることがわかります。



昨年度、開催した山のイオル「冬の遊び」での火起こし体験

さて、チキサニでは2月25日(土)、山のイオル「冬の遊び」を開催し、火起こし体験を行う予定です。詳細は本紙P17の「くらし百科 催し イオル体験交流事業」をご覧ください。

政策推進課 アイヌ政策推進室 学芸員 森洋輔

問い合わせ先: イオル事務所 チキサニ ☎82-6301